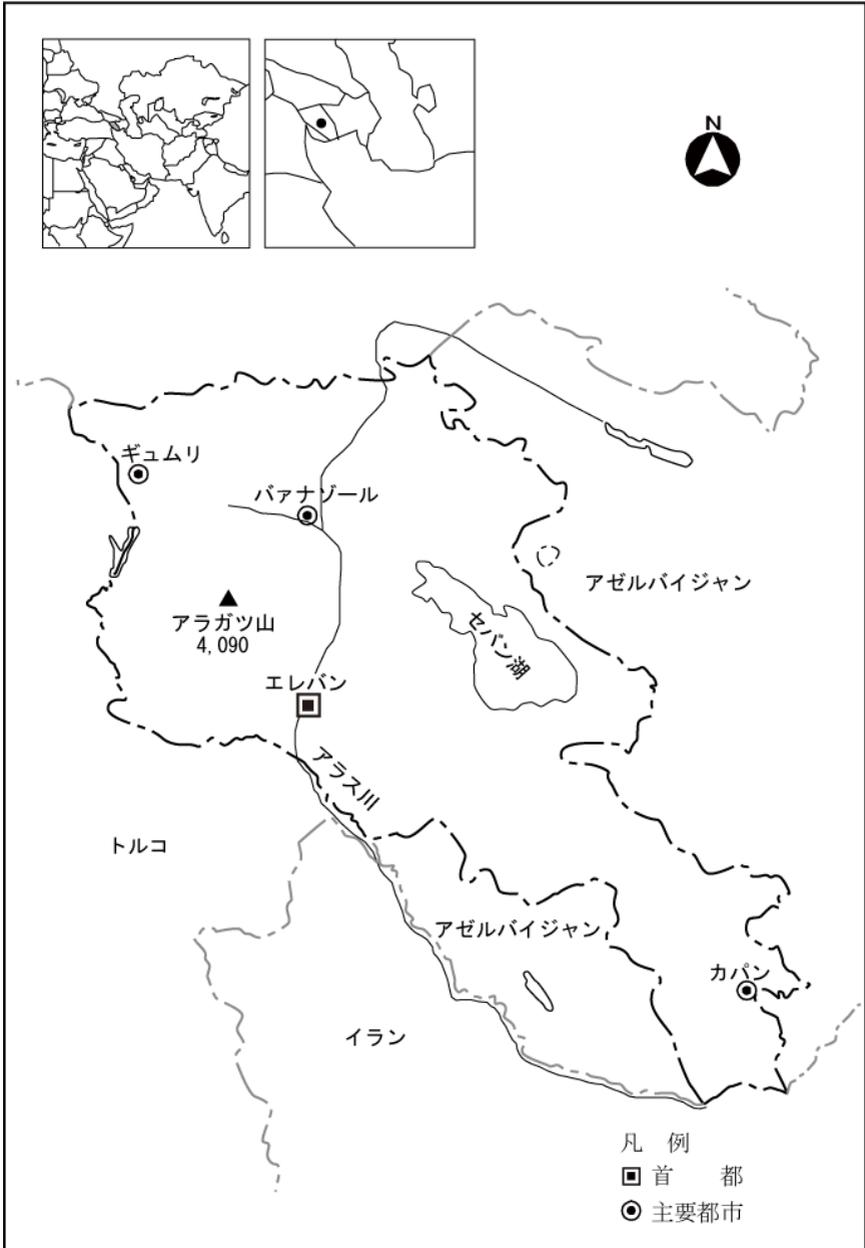


アルメニア共和国



(一般指標)

国名 (英名)	アルメニア共和国 (ARM : Republic of Armenia)		
国土面積	万 ha	300 (日本の7.9%)	
人口	万人	310.8 人口密度 103.6人/km ² (2012年)	
首都名(英名)	エレバン (Yerevan)		
首都人口	万人	111.6 (2009年)	
主要言語	アルメニア語(公用語)、少数言語		
宗教	アルメニア正教73%、カトリック4%、イスラム教2%		
国連加盟年月	1992年3月2日		
通貨単位	ドラム 1米ドル=404.85 (2013年7月)		
国民総所得: GNI	億米 ^{ドル}	99 (2010年)	
一人当りGNI	米 ^{ドル}	3,200 (2010年)	
主要産業	宝石加工、ダイヤモンド、機械製作		
日本から輸出	億円	11 (2011年) (車輛、建設・鉱山用機械、電気機器)	
日本の輸入	億円	1.8 (2011年) (衣類76.1%、紙巻たばこ他)	
土地利用	万ha	耕地	51 (17.9%) (2009年現在)
		森林	27 (9.3%) (2009年現在)
		牧場・牧草地	124 (43.6%) (2009年現在)
度量衡	メートル法		
祝祭日	1月1日元日、28日軍隊の日、3月8日国際婦人デー、4月7日母性の日、24日虐殺の犠牲者の記念日、5月1日メーデー、9日勝利と平和の日、28共和国の日、7月5日憲法記念日、9月21日独立記念日、2月7日大地震の犠牲者の記念日 移動祝日:アルメニア正教のクリスマス、聖金曜日、イースター		
気候	アルメニア高地の最東端にあり、平地はほとんどなく、国土の90%が標高1,000~3,000m。気候の特徴としては日照時間が多い。低地は雨が少なく、高地は多い。高地特有の大陸性乾燥気候で四季がある。年平均降水量は地域によって差があるが200-900ミリである。 エレバン -9℃ (1月)、28℃ (7月) 年間降水量 278.2mm		

(森林指標)

(森林面積)

森林面積 (2010)	千 ha	262
森林率	%	9.0
森林変動率 (2005-2010)	%	-1.5

(森林蓄積)

森林蓄積(2010)	百万 m ³	33
ha 当たり森林蓄積	m ³	126

(人工林面積)

人工林面積 (2010)	千 ha	21
森林面積に対する割合	%	8.0

(森林所有者)

公的機関	%	100.0
民間	%	0.0

(炭素蓄積)

炭素蓄積 (2010)	百万トン	13
年平均炭素蓄積変化 (2005-2010)	千トン/年	13

(森林・林業行政組織)

アルメニア国における森林行政は 2 つに分かれている。一つは農林水産省であり、林野庁(Hayantar)はこの部局である。もう一つは自然保護省である。この組織には環境監督部局があり違法伐採の確認を行っている。Hayantar は森林管理と森林利用を担うが、予算、施設、人材において不十分な状態にある。

(森林・林業政策)

国家森林政策及び国家森林戦略によれば、アルメニアの森林に関する主要目標は、持続的森林及び林地管理であり、その概要は次のとおりとなっている。

- ・ 持続的森林管理のための植林と開発
- ・ 制度改善及び能力開発
- ・ 科学的に立証された持続的森林管理計画の策定及び実施
- ・ 持続的森林管理の法的ベースの改善

現在の法制度は違法伐採の正確な量を調査することができないことを認識し、違法伐採に係る以下の課題を提起している。

- ・ Hayantar の能力（特にインフラの未整備及びフォレスターが不十分なこと）
- ・ 木材販売方法（自由公平なマーケットの開発を支援していない）
- ・ 林業作業に係る不十分な機械化
- ・ Hayantar の財政が不十分
- ・ 森林調査システムの利用が限られている
- ・ 木材マーケットに関する情報が未整備
- ・ 適正な森林管理計画がない こと

アルメニアの新たな森林政策は地域林業に重点をおいている。地域林業の効率性を試験するため、北アルメニアの 2 か所の地域の森林が地域林業として Hayantar により設定されている。しかしながら、地域における貧困割合は高く、多くの世帯ではエネルギー源などとして森林資源に多く依存している。

(森林の現況)

FRA2010 によれば、アルメニアの森林面積は 262 千 ha であり、国土の 9%を占

める。このうち、原生林は 13 千 ha（森林の 5%）にすぎない。また、人工林は 21 千 ha である。1990 年から 2010 年までの森林面積は年間平均 4,250ha、率にすれば 1.22%の割合で減少している。全期間では、8.5 万 ha、率にすれば 24.5%の森林が減少した。なお、同国の森林資源調査によれば、1990 年代初期における森林面積は 334 千 ha であるので、森林はそれ以降 20%以上減少している。

アルメニアの北東部、南東部及び Sevan 湖の東岸は森林の生育にとって気候的・環境的に最もふさわしい場所である。森林の 62%は北東部、36%は南東部に見られ、わずかに 2%が国の中央部にある。1991 年において森林の 70%は固有種のブナ、ナラ、シデなどの高林から成り、残る森林はぼう芽林 22%、灌木林 7%となっている。主な樹種の資源量は次のとおりである。

・ブナ	20.68 百万 m ³
・ナラ	12.5 百万
・シデ	6 百万
・他の樹木	2.56 百万

アルメニアの森林土壌はグレイ森林土壌である。植生遷移（森林土壌地域へ侵入したステップ地域）、人的影響そして森林荒廃は重大な影響を森林土壌に及ぼしている。

アルメニアの森林は樹種構成が多様である。260 種以上の樹種及び灌木が生育する。

樹種名： ナラ、タモ、シナノキ、シデ、ニレ、ナシ、ビャクシン、など

（人工造林）

造林プログラムは 2000 年から 2009 年までに実施され、およそ 33 千 ha が造林された。このうち 3,800ha は苗木の植林、5900ha はぼう芽更新であり、残りは天然更新である。1970 年から 1980 年までは年間造林面積は 3,000 から 5,000ha であったが、2000 年から 2005 年までは 1,250ha に落ち込んでいる。

（林産業）

産業用及び燃料用木材のほとんどは Hayantar の監督下で森林の管理を行う 18 の木材会社により供給される。木材生産は森林研究所（FMPs）により策定された森林管理計画に基づき行われるが、FMPs は厳しく年間許容伐採量（AAC）を制限し、政

府は更に AAC を厳しく設定している。2010 年の AAC は 35 千 m³ である。

2001 年から 2006 年までの年間平均伐採量は 72 万 m³ であり、1994 年から 2000 年までの約半分となっている。

政府資料によれば 2010 年の薪炭材生産は 7.5 万 m³ であり、推定される需要 45.7 万 m³ をはるかに下回る。産業用木材生産量は公表されていない。利用可能な森林から生産された木材消費は当該地域の森林成長量をはるかにしのぐ。その結果、アルメニアの森林は徐々に減少している。

ソビエト時代木材加工業は工場規模が大きく原料の輸入に大きく依存していた。しかし、現在ではそれらの工場は解体し、操業がほとんどできない状態である。公的資料によれば、アルメニアの中小規模木材加工工場は 2007 年には 300 あったものが、2008 年には 79 となっている。いくつかの製材工場は森林公社と連携しているが、その他は原料が入荷した時だけ操業する状態である。

原木生産量の推移と木材貿易量は以下の表のとおりである。

原木生産量の推移

単位：千 m³

年次	薪炭用	用 材				原木生産量 合計
		製材用、 単板用	パルプ用	その他	合計	
1985	—	—	—	0	0	—
1990	—	—	—	0	0	—
1995	—	—	—	0	0	—
2000	—	—	—	0	0	—
2006	40	5	—	23	28	68
2010	40	2	—	0	2	42

注：その他は杭、マッチ、ポスト、柵 など

木材貿易量（2010）

単位：数量万 m³，金額万ドル

製 品 名	輸 入		輸 出	
	数 量	金 額	数 量	金 額
丸 太	0.1	—	—	—
製 材	4.7	1,324.8	—	—
合 板	0.7	329.4	—	—

出典：1. Economic and Values Research Center, 2007, The Economics of Armenia's Forest Industry

2. Junge, N., Fripp, E., 2011, Understanding the Forestry Sector of Armenia: Current Conditions and Choices, Main Report (FLEG)

3. Mongabay, 2013, TROPICAL RAINFORESTS: Armenia Forest Information and Data”

(<http://rainforests.mongabay.com/deforestation/2000/Armenia.htm>)